

I 農業と地域社会のために全力を尽くす

自己改革ロードマップ

重点施策	目標値	具体的な取り組み	取り組み進捗				平成29年度 第1四半期	担当部署
			平成29年度					
			第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
需要に応じた契約生産と麦の品種転換	計画	H29年播 ファイバースノウ15t	収量が安定しており、加工しやすいファイバースノウ(小粒大麦)への品種転換をすすめます。				H29年播 試験栽培	30年産(29年秋播き)の試験栽培協力農家を選定済み、ファーマースノウ作付3ha確保(反500kg)。
	実績	試験栽培農家選定		3ha (作付予定)			種子確保	
需要に応じた契約生産に向け、麦の品質や生産性向上を図れる品種への転換を行います。	計画	H29年播中国165号 15t	多収で製粉性に優れている中国165号(小麦)への品種転換をすすめます。				H29年播 試験栽培	<小麦種子確保> 一般144kg: 試作用として実需へ販売分(1.8haで6トン程度) 播種200kg :H30年秋播用(2.5ha)
	実績	試験栽培農家選定		4.3ha (うち種子2.5ha) (作付予定)			種子確保	
実需との契約に基づく生産・販売の提案	計画	100t	JA出資法人連絡協議会に対して提案します。				5経営体と契約	支店営農経済課とTACIによる法人への提案方法を検討
	実績	216t	実需者・JA・生産者等との複数者契約を提案します。				要望量調査	
環境こだわり米のスタンダード化と特別栽培米の生産振興	計画	特別栽培米へ順次転換	播種前契約による結びつき先を確保します。				契約先確保	5者間契約の提案に向け、事前に4者間契約を締結。(キヌ108t: 平和堂、日本晴108t: 阪急デリカアイ)
	実績	-	実需者ごとの栽培指針(生産計画)を策定します。				栽培指導	
再生協議会等の生産目標に沿った産米生産と戦略作物の本作化推進	計画	特別栽培米 生産面積2,000ha	統一農薬を使用した特別栽培米の指導をします。				栽培指導	特別栽培米の使用資材の試験サンプルを配布。
	実績	-	実需者ごとの栽培指針(生産計画)を策定します。				実用試験実施	
再生協議会等の生産目標に沿った産米生産と戦略作物の本作化推進	計画	国による米の生産数量目標に沿った作付	水田活用米穀による取り組み、実需に応じた麦の品種転換、白大豆の生産振興をします。				地域別や再生協と連携した指導を実施	・実需が求める数量と品質確保のために品種転換試験圃場の確保と収量向上の試験の取り纏め ・白大豆は新品種(関東122号)の試験栽培を開始。 ・飼料用米392トン、WCS用稲944ロールで調整
	実績	実施	需要に応じた対応作物の作付				実施	
TACの増強と経済渉外担当者の設置、営農指導員の明確化	計画	5名	経済渉外担当者のスキルアップ研修を行い、商品知識と提案力を生かした活動で営農指導や相談活動(提案)による利用拡大を進めます。				利用拡大と営農相談件数の拡大 (訪問目標: 180軒/月×5人=年間10,800軒)	・実績検討会を毎月実施。 (訪問件数、実績、問題課題の報告・検討) ・経済渉外、支店営農経済担当者のスキルアップ研修会4回開催
	実績	5名	-	-	-	訪問件数 1,772軒		
TACを増員し支援活動を展開いたします。	計画	30名	支店窓口での指導相談や農業電子図書館(情報端末タッチパネル)の活用、訪問による営農指導をします。				生産拡大や満足度の向上による利用拡大	・13支店に営農指導員資格者を配置しているが、体制については未整備。 ・八日市南管内農事組合法人が黒大豆を新規に作付け。
	実績	調整	各部門の研修会に参加し、産地づくりや農業振興、農業生産の拡大に取り組みます。				水稲現地研修会実施	
総合ポイント制度の導入	計画	11名	制度構築に向けたプロジェクトでの検討と内容周知をします。				特産の生産振興や所得増大	・玉ねぎの乾燥を試験的に提案・実施 (五個荘地域2法人・1認定農業者: 約9トンを処理)
	実績	11名	-	-	-	玉ねぎ試験乾燥		
総合ポイント制度の導入	計画	-	制度構築に向けたプロジェクトでの検討と内容周知をします。				制度の策定・内容周知	7/31に各課担当者会議を開催
	実績	-	-	-	-	仕組検討	(各課担当者による検討予定)	

農産販売促進課  
施設管理課  
営農振興課

営農事業部  
畜産事業部

支店営農経済課  
生産資材課  
燃料生活課  
営農振興課  
特産課  
企画管理課  
人事課

企画管理課  
事務管理課  
総務組合員課

I 農業と地域社会のために全力を尽くす

自己改革ロードマップ

重点施策	目標値				具体的な取り組み	取り組み進捗				平成29年度 第1四半期	担当部署		
	平成29年度					平成29年度							
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期				
農業用融資や農業リスクに関する保障の提案	TACと連携し農業資金に対する融資やご相談をさせていただきます。	計画	融資取扱件数80件			農業金融プランナー資格の取得をすすめます。	45名				・7/5にTACと信用渉外の事業間連携会議を開催 ・アグリマイティー資金の利用拡大に向けた推進活動を展開 ・H29年度信用担当者の年間資格取得基準を課長会で提示	信用事業部	
	実績	46件	〔活動継続〕	〔活動継続〕	〔活動継続〕		職員周知	〔受験申請〕	〔10月17名受験予定〕	〔2月試験予定〕			
農業リスク診断活動による点検をいたします。	計画	診断・提案			農業リスクへの備えについて農談会等で案内します。	農談会での提案年1回				・6/2のTAC月例会議にて農業リスク診断活動の事業間連携会議を実施。 ・8月の米穀情勢報告会議でリスクチェックを実施予定。 ・8月～TAC定期訪問で、リスク診断チェックを実施。 ・春期農談会での提案に向け、保険募集人資格を取得。	共済普及課		
	実績	6/2 TAC連携会議	〔8月から活動予定〕	〔活動予定〕		〔活動予定〕	各担当者の資格取得と課長会での周知	〔資格取得予定〕	〔資格取得と課長会での周知予定〕			〔春期農談会で提案予定〕	
JAグループが一体となった農業・地域支援	全共連による「地域・農業活性化積立金」を活用した農業・地域支援を行います。	計画	15,000千円			「地域・農業活性化積立金」を活用した農業・地域支援を行います。	実施				・五個荘支店への黒大豆選粒機導入に向け手続。(特産課) ・近江大中肉牛研究会ウシラボの近江牛PR活動への支援予定	営農事業部、畜産事業部、経済事業部、共済事業部、管理部	
	実績	-	〔700千円〕	〔1,200千円〕	〔 〕		導入準備	〔ウシラボ支援予定〕	〔 〕	〔 〕			
	JAバンクの新規就農応援事業による助成を行います。	計画	3件以上			新規就農者を応援するため「JAバンクアグリ・エコサポート基金」の活用を提案します。	周知・提案				東近江市認定農業者審査会にて認定された農家を支援	営農振興課 特産課 信用事業部	
	実績	1件	〔 〕	〔 〕	〔 〕		1件	〔 〕	〔 〕	〔 〕			
	信連の農業設備投資支援事業を活用します。	計画	-			農業機械等の導入支援(貸与事業)を行います。	実施				・農業設備(パイプハウス)のリース事業要項作成に向け検討	営農事業部、信用事業部、管理部	
	実績	-	〔 〕	〔 〕	〔 〕		〔 〕	〔取組準備〕	〔 〕	〔 〕			
JA全農しがと一体となった農家組合員の所得増大プロジェクトで支援します。	計画	第10弾まで実施			農家組合員の所得増大プロジェクトで支援します。	実施				・農家組合員の所得増大プロジェクトとして第8弾まで提案中	営農事業部 経済事業部		
実績	第8弾まで実施	〔第9～10弾予定〕	〔 〕	〔 〕		実施	〔 〕	〔 〕	〔 〕				
連合会が一体となって設置した担い手サポートセンターによる記帳代行サービスを検討します。	計画	検討			連合会が一体となって設置した担い手サポートセンターによる記帳代行サービスを検討します。	担い手SCとの協議				中央会、担い手サポートセンターに対し、要望中。	営農振興課 支店営農経済課		
実績	検討	〔 〕	〔 〕	〔 〕		要望	〔 〕	〔 〕	〔 〕				
情報提供	各種情報提供媒体を活用し、農業・組織・地域情報を発信します。	計画	きてか～な通信年4回発行			営農情報を発信します。 (農談会資料、栽培ガイドライン、地域農業戦略、TAC情報・TACブログ、各支店営農情報誌他)	情報発信				・きてか～な通信:4月に発行 ・インショップ通信:4月に発行 ・きてか～な出荷者向けメール配信:毎日配信	営農事業部	
		実績	4月発行	〔 〕	〔 〕								〔 〕
		計画	インショップ通信年6回発行										
		実績	4月発行	〔7月発行予定〕	〔 〕								〔 〕
		計画	きてか～な出荷者向けメール配信(販売予測等) 毎日										
		実績	毎日配信	〔配信予定〕	〔配信予定〕								〔配信予定〕
		計画	総代通信誌ささえ 年4回発行										
		実績	6月発行	〔9月発行予定〕	〔12月発行予定〕								〔3月発行予定〕
組合情報を発信します。(広報誌ぐりんぴ～ず、総代通信誌ささえ、ホームページ、きてか～なフェイスブック他)	計画	誌面の充実・SNSの活用			組合情報を発信します。(広報誌ぐりんぴ～ず、総代通信誌ささえ、ホームページ、きてか～なフェイスブック他)	誌面の充実				・広報誌ぐりんぴ～ず:毎月発行 ・ホームページ:随時更新 ・きてか～なFacebook:都度配信	総務組合員課 営農事業部		
	実績	6月発行	〔9月発行予定〕	〔12月発行予定〕		〔3月発行予定〕	発行	〔 〕	〔 〕			〔 〕	
支店だより全支店年4回以上発行	計画	誌面の充実			支店・地域情報を発信します。(各支店だより他)	誌面の充実				・誌面充実を目的に、八幡西支店の支店長を講師として研修会を開催。 ・のどかから「のどか風便り」を発行。	各支店		
	実績	14支店発行	〔 〕	〔 〕		〔 〕	研修会開催	〔 〕	〔 〕			〔 〕	

I 農業と地域社会のために全力を尽くす

自己改革ロードマップ

重点施策		目標値				具体的な取り組み	取り組み進捗				平成29年度 第1四半期	担当部署
		平成29年度					平成29年度					
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
自己改革および政府による農協改革についての情報発信と徹底した見える化に取り組みます。	計画	総代懇談会での開示年2回				自己改革の計画、取り組み状況を発信します。 (広報誌での連載、HP、リーフレット他)	自己改革工程表(ロードマップ)作成				・総代懇談会、総代会にて開示 ・HP掲載中、農談会資料として提示	改革推進室
	実績	6月懇談会 開示	-	11月懇談会 予定	-		作成	[進捗確認 予定]	[進捗確認 予定]	[進捗確認 予定]		
	計画	広報誌での連載年12回					事業部ヒアリング年2回以上				・広報誌にて「自己改革への挑戦」 連載開始	
	実績	8月号より 連載開始	[継続予定]	[継続予定]	[継続予定]		-	[実施予定]	-	[実施予定]		

※WCSとは・・・ホールクroppサイレージの頭文字で、稲発酵粗飼料のこと。稲の実と茎葉を同時に収穫し発酵させた牛の飼料。

II 組合員の多様なニーズに応える事業方式への転換を加速化する

自己改革ロードマップ

重点施策	目標値				具体的な取り組み	取り組み進捗				平成29年度 第1四半期	担当部署		
	平成29年度					平成29年度							
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期				
特産の生産と担い手へのステップアップを支援	1支店1ミニ産地づくりをすすめます。	計画	取扱高 21,150千円			地域生産者と支店が一体となり、企画します。 支店単位での生産者募集や品目別栽培講習会を開催し、販売先との商談や折衝をします。 市場研修の実施や支店担当者向け園芸講習会・研修会へ参加し職員の特産知識向上に取り組みます。	1支店(地域)1品目以上をミニ産地化				各地域で栽培研修会を開催。 <5月> ・直売所向け栽培研修／八日市南 ・鷹飼町組合向け野菜教室／八幡東 <6月> ・夏野菜栽培研修会／五個荘地域 ・春夏日野菜の現地研修会／日野地域 ・ここ滋賀出展担当者説明会	支店営農経済課 特産課	
		実績	212千円					支店園芸講座、研修会の開催					
家庭菜園から直売所出荷農家へステップアップを支援します。		計画	きてか〜な出荷者会員登録者数670名			園芸講座を開催します。	年6回				直売所新規登録者数 ・きてか〜な16名 ・インショップ10名 ・各地域直売所3名(八日市やさい村)	特産課	
		実績	653名					第1回 52名参加	第2回 開催予定	第3,4回 開催予定			第5,6回 開催予定
		計画	平均委託率70%			果農産普及課と協力し、生産の少ない果樹の生産振興に取り組みます。	着手				果樹講習会：7/5予定 (大津市のブドウ農家と県の果樹技術センターへ視察予定)	支店営農経済課 特産課	
		実績	72.50%					講習会開催を案内	果樹講習会開催予定				
食味と品質向上のための技術普及	品質向上のための試験と普及に取り組みます。	計画	試験・実証			食味と品質向上のための営農指導充実と、新たな食味計を導入します。	営農指導の実施				食味向上のための生産資材の試験栽培を実施	営農振興課	
		実績	試験・実証					1担いで試験栽培					
畜産農家の生産・経営を支援	経営安定、規模拡大への相談対応や資金調達等を支援します。	計画	飼養頭数 和牛4,500頭			畜産農家と面談し、経営計画や規模拡大に向けた構想の確認や補助事業の活用、融資の提案をします。	実施				<和牛> ・遊休施設(牛舎)の有効活用に向けたマッチング相談1件：肥育80頭規模 ・畜産クラスター事業の施設整備1件(分娩牛舎の建設に向け、相談・助言・手続業務を実施)：繁殖30頭規模 <乳用牛> ・就農(酪農)相談1件：40頭規模	畜産課 信用業務課	
		実績	2施設相談(肥育80頭、繁殖30頭規模)										2月飼養頭数調査予定
		計画	飼養頭数 F1 1,600頭										
		実績	-										
		計画	飼養頭数 乳用牛1,330頭										
		実績	1施設相談(40頭規模)										
		計画	飼養頭数 乳用牛1,330頭										
集落・地域で取り組む野生鳥獣害対策への補完的支援	専門知識の習得に取り組みます。 支援助成事業で組織的な取り組みを支援します。(防護柵、檻の導入支援など)	計画	研修参加			職員の専門知識習得と資格取得に取り組みます。	研修参加				専門知識習得のための研修会に2名が参加。(6/18)	営農振興課 支店営農経済課	
		実績	2名参加					2名参加					
		計画	3組織			支援制度の周知・提案をします。	支援				要項周知(広報誌8月号)		
		実績	-					検討					
JAグリーン近江の独自支援で生産を振興	担い手経営革新支援事業で新たなチャレンジを支援します。	計画	11,000千円			FM・インショップの端境期対策に取り組みます。	品目提案				夏期農談会資料作成時に直売所等で取り扱いの少ない品目を掲載予定	特産課 営農振興課	
		実績	13件立案(2,900千円)					夏期農談会資料掲載	夏期農談会資料で説明				
	パイプハウス類設置支援事業で設置費用の一部を支援します。		計画	3,000千円				導入助成				5月に要領を検討。支店担当者と営農経済課長に説明。	
実績			要領検討、内容周知(広報誌7月号)		申請期日 12月末	導入完了 2月末							
園芸用農業機械導入支援事業で導入費用の一部を支援します。		計画	2,000千円			特産振興と有利販売に取り組みます。	要領検討				夏期農談会資料で説明		
		実績	要領検討、内容周知(広報誌7月号)		申請期日 12月末		導入完了 2月末						

II 組合員の多様なニーズに応える事業方式への転換を加速化する

自己改革ロードマップ

重点施策		目標値				具体的な取り組み	取り組み進捗				平成29年度 第1四半期	担当部署	
		平成29年度					平成29年度						
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期			
共同播種や野菜移植機等の貸出による支援	共同播種や野菜移植機等の貸し出しを行い生産振興を図ります。	計画	加工キャベツ生産面積 63ha 取扱高 120,000千円			貸出可能な特産機械の台数を拡大します。	12台保有				・6/12に29年産加工キャベツの取り組み説明会を開催。 ・八日市南管内農事組合法人が加工キャベツを新規作付け。 ・東近江市の補助事業により、玉ねぎ定植機を導入予定	特産課 営農振興課	
		実績	62.6ha										
		計画	契約玉ねぎ生産面積 8ha 取扱高 16,000千円				補助事業の 要望提出	(玉ねぎ定植 機導入予定)					
		実績	-										
食味値による米の区分集荷	みずかがみプレミアム88、みずかがみセレクトといった食味に応じた米集荷を充実いたします。	計画	みずかがみ作付面積 1,000ha			生産者の努力が報われる米の精算方法(加算金)を導入し、見える販売をします。	平成29年産からプリップリ米コンクール上位入賞米を特別精算				・プリップリ米コンクールを施設出荷者にも拡大 ・個袋出荷は特別奨励加算を行う ・食味に応じた集荷、精算、販売を検討	営農振興課 農産販売促進課 施設管理課 支店営農経済課	
		実績	921ha 作付申込										
		計画	みずかがみプレミアム88、みずかがみセレクト数量 80t										
		実績	-										
JAグリーン近江のブランド牛づくり	脂肪交雑に加えてプラスαの品質付加を図ります。	計画	(和牛) -			牛肉旨味成分の分析と、消費者と共に作り上げるJAグリーン近江のブランド基準を策定します。	分析・検証 仕組みづくり				・ブランドづくりを内部で検討中	畜産課	
		実績	-										
		計画	(F1) -			付加価値づくりに向けた飼料設計と管理方法を構築します。	試験						
		実績	ブランドづくり の構想立案										
		計画	F1枝肉重量 平均530kg以上				検討						
		実績	534kg										
規模や経営体に応じた農業振興と有利販売	大きな需要にこたえる農業振興をいたします。	計画	JAグループが一体となった販売			大規模・大ロット農業としての有利販売に取り組みます。	集荷の効率化、省力化の提案				・29年産米の出荷契約数量を基に、卸・実需への販売数量を協議(全農・JA直売)	農産販売促進課 営農振興課	
		実績	-										
	信頼される産地としての農業振興をいたします。	計画	結びつき米の契約販売			生産統一部会による統一農業としての有利販売に取り組みます。	特別栽培米の栽培基準の統一化を検討				・栽培ガイドラインを検討	営農振興課 農産販売促進課	
		実績	-										
	小さな需要にこたえる農業振興をいたします。	計画	地域消費者に有利販売			自然栽培や有機JAS、無農薬等、小規模農家ならではの実需者の要望にこだわった小ロット・希少農業によって有利販売につなげます。	ニッチ市場(※)の情報収集と生産現場の環境調査				・全農と卸を交えた情報交換を実施。	農産販売促進課 施設管理課 特産課	
		実績	-										
JA買取り、早期精算、共同計算のえらべる精算	品種や用途に応じた精算方法を選択可能にすることで販売数量を確保します。	計画	米穀取扱額 46億円			精算方法の選択を提案します。	JA買取りの価格提示等、メニューの精査				・選べる精算、見える販売先の提案(早期精算・JA買取り) ※対象農家:法人・認定農家	農産販売促進課 施設管理課	
		実績	-										
		計画	産米集荷数量 73.5万袋 (契約の厳格化、転作率の増加による減少)				提案チラシ作成						
		実績	-										

II 組合員の多様なニーズに応える事業方式への転換を加速化する

自己改革ロードマップ

重点施策		目標値				具体的な取り組み	取り組み進捗				平成29年度 第1四半期	担当部署	
		平成29年度					平成29年度						
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期			
管内流通販売と管外流通販売を区分した米の販売	生産者から実需者まで契約を交わした「見える販売先」の取り組みを強化します。	計画	管内流通販売2,000t				直売所や学校給食等を中心とした管内流通で有利販売に取り組みます。	継続販売と新たな販売先への提案				・平成29年度上半期「東近江市学校給食物資(精米)」を落札(能登川:171トン 湖東:8トン)	農産販売促進課 施設管理課 特産課
		実績	179t					東近江市学校給食落札、近江八幡市への入札参加					
		計画	管外流通販売5,000t				業務用途米や複数者契約米、輸出米等、JAグループが一体となった管外流通で有利販売に取り組みます。	系統連携、販売先確保				・JAグループによる販売数量の協議・確認	農産販売促進課 施設管理課
		実績	-					全農・実需との情報交換					
一括仕入れによる物流コストの抑制	購買倉庫・物流にかかる経費を抑制します。	計画	基準値より0.8%抑制 (▲768千円)				水稻・麦・大豆の配送計画策定により、配送の効率化を図ります	計画策定、実施				<物流コストの抑制> ・リフトの定期点検以外の修理について、現行1社のみ取引であったが、今年度から他2社の相見積もりを取り、検証等行い価格交渉を行った。 ・大豆資材・水稻穂肥一括早期仕入れによって、コストを削減した。	生産資材課
		実績	削減目標 192千円 計画対比 23.4%	削減目標 384千円	削減目標 576千円	削減目標 768千円		早期納品、計画納品、一括仕入れによる物流コストの抑制を図ります。	実施				
作物共通資材、高成分肥料、大型規格商品の提案	所得増大プロジェクトによる提案と新たな取り組みを検討します。	計画	第6弾～第10弾まで提案				所得増大プロジェクトによる資材・技術の提案をします。 第6弾 平成29年産多収品種とキヌヒカリ収量比較 第7弾 平成29年産水稻高密度苗による省力化 第8弾 平成29年産大豆収量向上の横展開 第9弾 平成29年産玉ねぎ収穫機械による省力化 第10弾 平成29年産加工業務用野菜の施肥技術の提案 (加工キャベツ:一発肥料とホスプラス・サブソイラーの活用 契約玉ねぎ:麦の一発肥料の活用(30年産))	実施				農家組合員の所得増大プロジェクトとして提案 ・第6弾 実施中(しきゆたかとキヌヒカリの多肥栽培の収量比較調査) ・第7弾 実施中(高密度播種250gによる苗箱枚数軽減) ・第8弾 実施中(石灰窒素入り肥料<<黒ひかり>>+耕起前除草<<ラウンドアップ散布>>+種子消毒<<クルーザ処理>>により面積拡大の横展開)	生産資材課 営農振興課 特産課
		実績	第6.7.8弾を提案	第9.10弾を提案				所得増大に向けた新たな取り組みをJA全農しごとと共に検討し、実施します。	内容検討				
	高成分省力化・価格抑制商品を取り扱います。	計画	実施				高窒素肥料15kg袋商品の取り扱いや稲・麦・園芸の共通肥料の提案、選択肢の拡大として輸入肥料を取り扱います。	高窒素肥料試験				<高窒素肥料> ・3件の農家で60aを試験実施。 <共通肥料> ・農家所得増大に向けた銘柄集約のブロック会議(JA湖東、蒲生、東能登川の4JA)が開催され、一般高度化成3品目に絞込み、県下統一商品として提案。 <輸入肥料> ・全農から、輸入肥料の取扱申込み受注納期がまだ来ていないため、第一四半期は取扱いなし。	生産資材課
		実績	実施					3件60a	共通肥料 実施				
							県下統一、一般高度化成3銘柄						
							輸入肥料取り扱い						
							取扱なし						

※ニッチ市場とは・・・市場全体の一部を構成する特定のニーズ(需要、客層)を持つ規模の小さい市場のこと。

Ⅲ JAの業務執行体制を強化する

自己改革ロードマップ

重点施策		目標値				具体的な取り組み	取り組み進捗				平成29年度 第1四半期	担当部署	
		平成29年度					平成29年度						
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期			
農協法改正に伴う次期役員体制の検討	検討内容について組織決定いたします。	計画	-				農協法改正に伴い、次期役員体制検討委員会にて次期役員体制を検討します。	委員会にて検討・答申				第1回(H29年3月)～第4回まで開催し検討。	総務組合員課
		実績	-	-	-	-		検討	〔検討予定〕	〔検討予定〕	〔答申予定〕		
公認会計士監査の移行に向けた体制づくり	公認会計士監査に対応できる体制を確立します。	計画	準備				経済事業等の内部統制による整備をすすめます。	検討・実施				<ul style="list-style-type: none"> <li>・6/13 内部統制検討会</li> <li>・7/6 担当責任者会議</li> <li>・7/20 内部統制整備の必要性説明会(支店経済課長)</li> <li>・8/20 全役員研修会</li> <li>・文書化(業務フロー兼業務記述書の作成)に向け、内部統制整備プロセスとスケジュール・役割分担を決定。</li> </ul>	リスク統括部
		実績	検討会	(支店営農経済課長説明会)					プロセスの検討・決定	〔文書化完了予定〕	〔文書化検証予定〕		

IV 担い手の育成を強化する

自己改革ロードマップ

重点施策		目標値				具体的な取り組み	取り組み進捗				平成29年度 第1四半期	担当部署		
		平成29年度					平成29年度							
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期				
TAC、経済渉外担当者等の渉外活動を通じた提案・支援・指導	集落営農の法人化を支援します。	計画	116法人				TACが法人化を支援します。(県普及員、市町担当、専門家、JAが連携)	実施				第1四半期で9法人の設立を支援	営農振興課	
	実績	119法人 設立					設立を 支援							
	法人化後も支援します。	計画	法人経営の高度化を支援				県と連携した経営改善指導をします。	5組織				・加工キャベツ新規取組約5経営体：作付け予定面積62.6ha(大中含) ・育苗ハウスの有効活用として、中輪菊・レタスを品目提案。県の経営指導と連携しながら法人を支援中	特産課 営農振興課	
		実績	実施						実施					
		計画	経営の多角化提案				水田を活用した園芸特産を提案します。	TAC活動						
		実績	土地利用型 品目提案と パイプハウスの 活用提案						加工キャベツ 取組説明会					
	計画	法人間連携を支援				JAグリーン近江出資法人連絡協議会を通じて支援します。	実施							
	実績	地域連絡 協議会を設置						八日市北と 西で協議会 の検討						
	計画	実施				地域別の法人間連携を支援します	5地域				建部地区法人連絡協議会の設立を提案			営農振興課 支店営農経済課
	実績	提案						八日市北と 西で協議会 の検討						
担い手ニーズに合った生産資材の提案と指導をいたします。(経済渉外担当者5名)	計画	46,000千円/人				法人連絡協議会対応BB肥料と大型規格農薬を提案します。TAC、支店営農経済担当者と営農経済渉外担当者が連携し、適切な指導と提案活動を行います。	BB肥料 <sup>(※)</sup> 9組織、超大型規格農薬4品目提案				BB肥料取扱組織数：10法人 (目標対比 111%) 超大型規格農薬提案数：3品目 (目標対比 75%) ・稲、麦、大豆に対しても規格の提案を検討			支店営農経済課 営農振興課 特産課
	実績	年間目標 対比11% 四半期目標 対比74%						(BB肥料) 10組織取組 (超大型農薬) 3品目提案						
新たな挑戦を応援します。(TACチャレンジ事業)	計画	11,000千円				TACの渉外活動による情報収集と提案をします。	実施				29年度園芸用機械とパイプハウスの助成について広報誌7月号で案内	支店営農経済課 営農振興課 特産課		
	実績	2,900千円						13件の 支援立案						
子会社(株)グリーンサポート楽農による担い手と連携した作業の受託	担い手グループとの連携を強化いたします。	計画	実施				農作業受託作業を拡大します。	79ha				園芸特産の乾田化サブソイラ作業を提案  (畑の硬盤を破碎し、水みちをつけて排水をよくする作業)	営農振興課	
		実績	連携・実施					農作業受託作業の平均化に取り組みます。	サブソイラ 3ha					

※BB肥料・・・バルク(粒)ブレンド(配合)の略で、2種類以上の粒状の肥料原料を配合した肥料をいう。

V 協同組合活動をすすめるための人材育成と組合員の関係づくりを強化する

自己改革ロードマップ

重点施策		目標値				具体的な取り組み	取り組み進捗				平成29年度 第1四半期	担当部署		
		平成29年度					平成29年度							
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期				
農家の健全経営に向けた指導ができる人材の育成	営農指導員資格の取得を推進します。	計画	1級25名				営農・経済・畜産部門における未取得者の受験を必須化します。	取得必須				・1級2名受験予定 ・2級認定研修6名参加予定  (H28年度末 1級24名 2級56名)	営農事業部 畜産事業部 経済事業部 支店営農経済課	
		実績	-	7月 養成研修会 2名参加予定	10月 論文試験 2名受験予定	1月 口述試験								
		計画	2級65名					取得推進						
		実績	-	認定研修6名 参加予定	10月 養成研修会	1月 筆記試験								
	JA全国専門畜産経営診断士資格の取得を推進します。	計画	新規取得1名				研修会・講習会への参加と、職場内での経験者を軸とした技術研鑽により資格取得と職員のレベルアップに取り組みます。	研修会参加				・今年度の取得見送り	畜産課	
		実績	-	-	-	-								
	農業金融プランナー資格の取得を推進します。	計画	資格取得者45名				農業融資実務者を中心に資格取得をすすめます。	研修会参加				・10月農業融資実務17名受験予定 ・課長会議にてH29年度信用担当者年間資格取得基準を周知	信用事業部	
		実績	-		新規取得 予定									
	保険募集人資格の取得を推進します。	計画	資格取得者50名				農業リスクに対する保障の提案活動ができるよう、各支店共済課長、共済渉外担当者、窓口担当者の資格取得を必須化します。	取得必須				・7月受験予定者21名 ／うち共済課長12名、LA7名 ・9月受験予定者13名 ／うちLA6名 (7名は既取得者のレベルアップ受験) 今後、本店職員・スマイルサポーターを中心に資格取得予定。	共済普及課	
		実績	既取得者 37名	新規取得 25名予定	新規取得 25名予定	取組継続 予定								
	トータル人事制度の構築	能力開発や人材育成に重点を置いた人事制度となるよう見直します。	計画	新制度検討				外部コンサルタントと共に新制度の設計に向け検討し、移行します。	分析・検討・基本構想の策定				・ES調査アンケート実施と分析 ・現行制度の把握 ・ミーティングによる検討6回 ・役員報告会1回	人事課
			実績	プロジェクトでの 検討開始	検討予定	策定予定	移行予定							
組合員の皆様との徹底した話し合い	人・農地プランづくりや農地集積のサポート、地域や組織、集落に応じた農談会・座談会を開催し、地域農業の未来のために徹底した話し合いを行います。	計画	人農地プラン100プラン				地域営農ビジョンづくりや人・農地プランづくりをサポートします。(推進は行政が主体)	集落や組織への出向く活動				・集落に出向きサポート活動を展開中。 ・夏期農談会では集落が求める情報についてアンケートを実施し、地域に応じた資料を作成。 ・支店独自資料は策定しているが、集落用には策定していない。	支店営農経済課	
		実績	108プラン											
		計画	農地集積4,000ha					担い手への農地集積を進めます。	実施					
		実績	実施											
	計画	農談会 年2回				地域に応じた農談会となるよう独自資料を作成します。また要望に応じた説明会形式にも対応します。	全支店で独自資料作成							
	実績	-	夏期農談会											
支店別総代懇談会の活性化に取り組みます。	計画	総代懇談会出席率75%				事業報告を中心とした開催形式から意見交換を中心とした運営形式へ変更します。	検討・実施				・4月総代研修会 ／参加者185名 ・6月総代懇談会 ／出席者366名	総務組合員課		
	実績	70.10%	-	開催予定	-									

V 協同組合活動をすすめるための人材育成と組合員の関係づくりを強化する

自己改革ロードマップ

重点施策		目標値				具体的な取り組み	取り組み進捗				平成29年度 第1四半期	担当部署
		平成29年度					平成29年度					
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
担い手や法人間の交流・連携を図ります。	計画	地域に応じた担い手グループの設立				地域に応じた協議会等のグループづくりを提案し、設置後も支援します。 (法人連絡協議会等の立ち上げ支援)	交流会開催				・担い手協議会農夢竜王21のグループ別意見交換会を開催。 ・地域法人連絡協の設立と意見交換会を開催。 ・法連協地区員会の開催と地元選出の県会議員との懇話会を検討。	営農事業部
	実績	設立を検討					意見交換会開催					
	計画	人・物・技術の連携				JAグリーン近江出資法人連絡協議会の地域代表委員を通じてJA役職員との意見交換を重ね、法人の経営安定につなげます。 また各地域の法人間連携をすすめ、法人経営の基盤強化を図ります。	定期的な意見交換会					
	実績	連携を検討					県議会議員との意見交換会を検討					
組合員組織の活性化を支援	計画	各支店、地域での生産部会員・きてか～な出荷者会員の増加				各生産部会員やTAC、経済渉外担当者、支店営農経済担当者、支店担当者による声かけをします。 きてか～な出荷者大会を開催します。	各渉外活動での声かけ				・新規登録者数16名 ・出荷者説明会を随時開催	支店営農経済課 営農振興課 特産課
	実績	653名					実施					
各生産部会や年金友の会、青年部、女性部等組合員組織への加入を推進します。	計画	各支店、地域での年金友の会会員の増加				魅力ある年金友の会活動とPRをします。	新たな活動の検討・渉外活動や支店での声かけ				・5月～6月の指定替キャンペーンによる会員増加 ・9月～11月末まで年金口座獲得推進運動を展開予定	信用推進課
	実績	196名増加	推進運動展開予定	推進運動展開予定			現場営業力強化運動に向けた事前準備	事前準備	現場営業力強化運動予定			
	計画	青年部員35名				魅力ある青年部活動とPRをします。	実施				・新入職員歓迎会を開催。 ・年間イベントについて検討。	営農振興課
	実績	31名					実施					
	計画	女性部会員1,800名				魅力ある女性部活動と個人会員からグループ会員や支部会員への変更を働きかけます。	支部員600名				・個人会員1,001名(+49名) ・グループ会員数の減少は、支部登録によるもの。	総務組合員課
	実績	1,770名(+66名)	増加運動の展開	増加運動の展開	増加運動の展開		618名(+51名)					
						グループ会員190名						
						151名(▲34名)						